

校庭がきれいな赤や黄色で包まれていると、6年生が教えてくれました。日本では、万葉集の時代から紅葉の美しさを愛でて、野遊びをしていたそうです。五感をたっぷり使って、季節を楽しみたいものです。

<朝会で話した主な内容> テーマ:「季節を楽しんで」

秋になって、赤や黄色に色づいた木の葉がきれいですね。緑色の木の葉が赤や黄色になることを紅葉(こうよう)といいます。マツやスギなどは、1年中葉っぱが緑ですが、サクラやモミジ、イチョウのように秋から冬にかけて葉っぱがなくなる木の一部で、紅葉が見られます。

どうして、葉の色が変わるかは、少し難しいお話なので、新聞に出ていた落ち葉じゃんけんを紹介しましょう。

10数える間に、大きい葉っぱや小さい葉っぱ、細長いや幅の広い葉っぱなど、できるだけ落ち葉をたくさん拾います。そして、葉っぱのお題を出します。「じゃんけん、一番大きな葉っぱ」「じゃんけん、一番小さな葉っぱ」と言ったりして、お題に一番近い葉を出した人が勝ち。葉っぱの大きさや形、色などお題を変えて楽しめます。

さて、ひときわ赤色が美しく、人の手を広げたような形の葉は、なんというでしょう。正解は「モミジ」です。イロハモミジ、ヤマモミジ、オオモミジなどがあり、葉に5つ以上切れ込みがあります。モミジは、「蛙の手→かえるで」から名前がついたと言われる「カエデ」の仲間で、カナダの国旗メープルもカエデです。カエデにもいろいろな種類がありますよ。皆さんも、身の回りで秋を探して楽しんでみてください。

- 1 今まで、モミジ、イチョウは見て楽しむものだと思っていたが、落ち葉じゃんけんを聞き、そういう楽しみ方ができるのかあ、と分かった。
- 2 落ち葉じゃんけんは紅葉した落ち葉の遊びで、紅葉している秋の季節しかできないので、やってみたくと思った。
- 3 モミジについて話をしてくださった時、とても分かるような気がしました。なぜなら家の庭に2本あるからです。家のモミジの木を想像しながらずっと話を聞いていると、落ち着くような、ほっとするものがありました。
- 4 紅葉は、子供も大人も楽しめると思いました。子供は紅葉で遊べて、大人は見て楽しめると思います。見て楽しむのは、心がいやされて、ストレスが発散されていいと思います。
- 5 葉っぱは、秋になると紅葉するものとしらないものがあって、紅葉するもので一番覚えているのはイチョウです。手の形をしているモミジも覚えやすいです。
- 6 秋といえば紅葉です。いつもは緑色の葉が、赤や黄色になるところが好きです。だから、校長先生が言っていた落ち葉じゃんけんは、すごくやってみたくです。
- 7 「落ち葉じゃんけん」という話の中で、新聞に書いてあったと言っていた。「落ち葉じゃんけん」とは話が違うけど、新聞にもっと関心をもった。いつも新聞は読んでいたけど、もっと読んでみたいと思った。
- 8 葉っぱでじゃんけんをすると、いろいろ葉を知ったり、大きさを見ると勉強になるからいいな、と思いました。外で葉っぱを見て、いろいろ葉っぱを知りたいです。
- 9 葉が秋ごろになると黄色や赤になったりするのは、冬に近くなるにつれて日の当たる時間が少なくなって、葉の中の葉緑素がなくなるからだと思います。
- 10 県によって、紅葉する時期は違うと思う。だから、本などを読んで調べてみたいと思いました。これからいつもより、葉や花をよく見て過ごしたいと思いました。
- 11 保育園のころ、落ち葉の大きいやつ、小さなやつでじゃんけんをしていたので、懐かしいなあーって思った。
- 12 秋になると赤や黄色の葉になるけど、緑だけの葉は一部なのが驚きました。落ち葉じゃんけんはとてもおもしろいと思ったから、今度やりたいと思った。
- 13 モミジはカエデの仲間だと知らなかった。紅葉する木は落葉樹だと思い出した。カナダの国旗のメープルの木もカエデだと知った。
- 14 モミジやイチョウは紅葉するのは知っていたけど、サクラの葉も紅葉するというのを初めて知り、とても驚いた。今度、サクラの木を見たら、紅葉しているのか見てみたいなと思った。落ち葉じゃんけんは、秋にぴったりの遊びだから、今の時期にやるのにちょうどよいなと思った。